

令和7年度 第2回

朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会

令和8年3月18日

都市建設部 みどり公園課

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第2回朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会	
開催日時	令和8年3月18日（水） 午前10時30分～午後0時00分	
開催場所	朝霞市民会館 201会議室	
出席者の職・氏名	別紙のとおり	
欠席者の職・氏名	別紙のとおり	
議題	別紙のとおり	
会議資料	別紙のとおり	
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員長・副委員長による確認	
傍聴者の数	1名	
その他の必要事項		

令和7年度

第2回朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会

令和8年3月18日(水)
午前10時30分から
午後0時00分まで
朝霞市民会館201会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1)「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」について

(2)「国道254号バイパス沿道の土地利用についてのアンケート」について

4 閉 会

出席委員(12人)

委 員 長	久 保 田 尚
副 委 員 長	町 田 誠
委 員	須 永 大 介
委 員	高 橋 隆
委 員	松 村 隆
委 員	蕪 木 利 秋
委 員	齋 藤 隆
委 員	須 崎 幸 彦
委 員	神 山 茂
委 員	田 中 久 義
委 員	大 貫 利 巳
委 員	高 田 諭

欠席委員(4人)

委 員	渡 辺 淳 史
委 員	荒 川 英 浩
委 員	平 塚 誠 哲
委 員	松 塚 哲

事務局（9人）

事	務	局	都市建設部長	松	岡	里	奈
事	務	局	審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長	村	沢	敏	美
事	務	局	まちづくり推進課主幹兼課長補佐	持	田	宏	行
事	務	局	まちづくり推進課区画整理係長	百	瀬	桂	太郎
事	務	局	まちづくり推進課区画整理係主任	秋	山	浩	輝
事	務	局	まちづくり推進課区画整理係主任	福	崎	真	吾
事	務	局	みどり公園課長	松	下	俊	一
事	務	局	みどり公園課長補佐	四	方	田	洋子
事	務	局	みどり公園課みどり公園係主査	間	淵		愛

【配付資料】

- ・令和7年度 第2回朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会 次第
- ・国道254号バイパス沿道の土地利用について（案）
- ・「国道254号バイパス沿道の土地利用に関するアンケート調査」（鑑文書）
- ・国道254号バイパス沿道地権者アンケート案
- ・エリア区分図
- ・国道254号バイパス沿道の土地利用について（案）新旧対照表
- ・内間木公園拡張整備等検討委員会 前回の会議の振り返りと対応

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

◎1 開会

○事務局・持田まちづくり推進課主幹兼課長補佐

皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから「令和7年度第2回朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会」を開会させていただきます。

はじめに、会議の公開、傍聴者についてでございます。本日は傍聴者が1名いらっしゃっており、事前に委員長の許可をいただいた上で、入室していただいておりますので、あらかじめご了承ください。また、今後傍聴者がいらっしゃった場合は、随時入室していただくことで事前に委員長に許可をいただいておりますので、よろしくお願いいたします。なお、本日の傍聴定員は10人としておりますが、必要に応じて傍聴定員を増加する等、柔軟な対応に努めたいと考えておりますので、併せてご了承をお願いいたします。

◎2 あいさつ

○事務局・持田まちづくり推進課主幹兼課長補佐

続きまして、都市建設部長の松岡からごあいさつ申し上げます。

○事務局・松岡都市建設部長

皆様、おはようございます。都市建設部長の松岡でございます。

本日は、年度末の大変お忙しい中、令和7年度第2回朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本市の都市建設行政にご理解とご協力をいただいていることにつきましても、改めて御礼申し上げます。

本委員会は、「国道254号バイパス沿道の土地利用について」という手引を完成させる、ということで、皆様にはお集まりいただいております。前回の委員会でも大変多くのご意見やご質問をいただきましたこと、ありがとうございます。主なご意見としては、現在策定中の「都市計画マスタープラン」をもとにするということであったり、アンケートの内容について精査が必要だというご意見をいただきまして、今回取り入れられる内容を取り入れまして、今回、資料を改めて作成させていただいたところがございます。改めて皆様からご意見やご質問をいただいた上で、地権者等へのアンケート調査、そして、手引の改訂を進めてまいりたいと考えております。

内間木地域のみならず、市全体の魅力向上に寄与できるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局・持田まちづくり推進課主幹兼課長補佐

それでは、ここからの議事進行は、久保田委員長にお願いしたいと存じます。
久保田委員長、よろしくお願いいたします。

○久保田委員長

はい、それでは始めたいと思います。よろしくお願いいたします。
まずは事務局からいくつか報告事項があるということで、よろしくお願いいたします。

○事務局・百瀬まちづくり推進課区画整理係長

事務局からまず報告事項を申し上げたいと思います。
事務局のまちづくり推進課の百瀬と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、本日の委員会についてなんですけれども、委員の皆様全部で16人いらっしゃる中で本日12人の出席をいただいております、過半数のご出席をいただいておりますので会議が成立することをご報告申し上げます。

なお、本日は、渡辺委員、平塚委員、松尾委員から事前に欠席のご連絡をいただいております。荒川委員に関しましては今のところご連絡いただいておりますので、もしかしたらこの後いらっしゃる可能性もあるということでご了承いただければと思います。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。昨日お会いできた方にはお持ちいただければありがたいなというところをお願いしたところがございます。本日7点の資料を配付させていただきます。

まず1点目です。次第になります。A4の紙1枚のものになります。

2点目が「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」。令和8年3月と表紙に書いてあるものになります。

続きまして、3点目です。「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」の新旧対照表、A3判を織り込んでA4のサイズに織り込んでのものになりまして、紙でいうところの8枚ぐらいになるものになります。今までは令和6年3月版でずっときてたんですけれども、前回の12月の委員会でご意見いただきまして、改定したのが2点目で申し上げた令和8年3月版となっております。令和6年3月からどこがどう変わったのかというのを新旧対照表の形で示してるのが3点目になります。

続きまして4点目です。アンケートのかがみ文書になります。A4の1枚で、表にお願いの文面で裏面にアンケートにご回答いただく際に参考となる情報等ということでA4表裏の印刷となっております。

続きまして5点目アンケート本体となります。左上ホチキスどめのものになっており

ます。続きまして6点目、アンケートのQ1に関するエリアの区分図というのが、カラーのものでA4の1枚のものとなっております。質問にご回答いただくに当たって参考いただく資料となっております。

最後7点目です。左上ホチキスどめしてある紙3枚のもので「内間木公園拡張整備等検討委員会前回の会議の振り返りと対応」という資料、こちら白黒のものになっております。

以上7点の資料を本日使って進めてまいりたいと考えております。過不足やご不明な点等がございましたら、挙手にてお知らせいただければご対応いたします。いかがでございましょうか。

(対応)

最後に、本日の委員会でございますが、会議録作成のため、録音をさせていただいております。その際、音声だけではどなたのご発言が分からなくなってしまい、会議録作成が難しくなってまいりますので、ご発言をいただく際は挙手をしていただき、委員長からの指名を受けてからご発言していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

◎3 議題(1)「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」について

○久保田委員長

それでは、議題に入ります。

議題(1)、「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」についてです。

事務局から説明をお願いします。

○事務局・福崎まちづくり推進課区画整理係主任

はい。事務局のまちづくり推進課の福崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」についてでございますが、従前は「令和6年3月」版でしたが、前回12月の委員会で委員の皆様からいただいたご意見等であったり、現在策定中の都市計画マスタープランの内容を反映させるなどした結果、「令和8年3月」版として更新いたしました。それが、資料2の冊子となります。なお、「前回12月の委員会で委員の皆様からいただいたご意見等」というのは、本日配付させていただきました資料7「前回の会議の振り返りと対応」にまとめてございます。本日は、どこがどう変わったのか、ということで、「令和6年3月」版と「令和8年3月」版の変更点についてご説明を申し上げたいと思いますので、資料3「新旧対照表」をお

手元にご用意ください。

はじめに1ページです。ここは、軽微な年度表記の更新でございます。

続いて2ページ、裏面でございます。「現況と課題」のうち、内間木地区に関する人口及び事業所数・従業者数につきまして、都市計画マスタープランと内容の整合性を図り、市として持ち得る最新の情報に時点修正をいたしました。

次に、3ページでございます。同じく「現況と課題」のうち、土地利用につきまして、こちらも都市計画マスタープランと内容の整合性を図り、より実態に近い表現となっております。

次に、4ページでございます。「上位関連計画での位置づけ」のうち、「都市計画マスタープラン」の中での国道254号バイパス沿道の位置付けを、最新版の都市計画マスタープランと内容の整合性を図りました。「市として内間木地区をどのように考えているのか」といったことは、ここにまとめています。

次に、5ページでございます。「将来都市計画図」につきまして、こちらも最新版の都市計画マスタープランと内容の整合性を図りました。

市内全域において変更が生じた部分は多々あるものの、国道254号バイパス沿道、そして内間木地域全般がお分かりになるかと思えます。

次に、6ページでございます。大きく変化している内容・凡例について解説するため、新規ページとして1ページ追加いたしました。

次に、7ページでございます。都市計画マスタープランを策定するに当たり開催した「まちづくりサロン（地域別）」でいただいたご意見に係るページで、「地元の方の声」として新規ページを1ページ追加いたしました。

8ページから12ページまででございます。「沿道のまちづくりの方向性」で四つの目標を掲げておりますが、目標のタイトルはそのままとし、内容について、最新版の都市計画マスタープランと内容の整合性を図りました。内容の変更の理由としては、都市計画マスタープランと内容の整合性を図るものです。8ページから12ページにつきましては、四つの目標について都市計画マスタープランと整合を図りました。

議題(1)、「国道254号バイパス沿道の土地利用について(案)」についての説明は、以上となります。確認やご意見、ご質問等をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

○久保田委員長

はい、ありがとうございます。

基本的には都市計画マスタープランとの整合性が図られたという修正がなされたということですが、何かご質問などよろしいでしょうか。

「前回の振り返り」というものが配られていますが、これによって修正した箇所というものはないのでしょうか。

○事務局・百瀬まちづくり推進課区画整理係長

はい、事務局の百瀬でございます。

前回の12月に行われた会議で様々なご意見いただいたんですけども、具体的にこの部分がこうだ、ここの部分をこういうふうに修正してほしい、そのような具体的な修正のご意見というのはありませんでした。

全般的な話として、こういうふうな方向性のものがあつたらいいねとかは多分具体的にはないんですけども、事務局からの前回の説明で、内容をすべて修正したり、大幅に見直すというふうな予定はなくて、今現在でどのように現状と合ってるのか合っていないのかといったところを見直していきたいというふうなお話を申し上げたところですね。都市計画マスタープランの内容はきちんと反映させた方がいいんじゃないかとか、そういうふうな大きな方向性でいただきましたので、先ほどの方の説明もたくさんあつたんですけども、最新版の、今現在策定中なんですけれども、都市計画マスタープランとの整合性を図るといのが中心となったということでございます。

以上でございます。

○久保田委員長

はい、よく分かりました、ありがとうございます。

それを踏まえまして、追加の質問・ご意見があればお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、そういう形で修正が行われたということで理解をしておきます。

◎3 議題(2)「国道254号バイパス沿道の土地利用についてのアンケート」について

○久保田委員長

続きまして、議題(2)「国道254号バイパス沿道の土地利用についてのアンケート」についてです。

事務局から説明をお願いします。

○事務局・秋山まちづくり推進課区画整理係主任

事務局の秋山でございます。着座にて説明させていただきます。

「国道254号バイパス沿道の土地利用についてのアンケート」についてでございますが、こちらにつきましても前回12月の委員会で委員の皆様にお示しいたしました内容との変更点を中心にご説明いたします。資料4「アンケートのかがみ文書」と資料5「アンケート」をお手元にご用意ください。

まずは、資料4「アンケートのかがみ文書」ですが、裏面をご覧ください。

「アンケートにご回答いただく際に参考となる情報等」として、1枚にまとめました。先ほどの「土地利用について（案）」でもご説明した内容と重複いたしますが、市として考えている現況と課題、また、内間木地区をどのように考えているのか。そして地域の方の思い・ご意見等を集約して記載しております。「土地利用について（案）」は、「見やすいけれども、いろいろなところにいろいろなことが書かれている」状態でしたが、こちらは「文字ばかりだけれども、紙1枚に集約して記載した」とご理解いただければ幸いです。アンケートにお答えいただく前のかがみ文書として、こちらを作成いたしました。

続きまして、アンケート本体でございます。前回12月の委員会におきまして、「回答者の属性に関する質問項目を加えたらどうか」、「どの辺りの土地をお持ちの地権者の回答なのか分かった方が良くと思う」とのご意見をいただいたことから、今回、Q1及びQ2を加えさせていただきました。また、Q1の回答を補助する資料として、資料6「アンケートQ1に関するエリア区分図」を作成いたしました。所有している土地のエリアの違いによって、特徴的なもの・傾向が表れるような結果になるものと考えております。なお、アンケートの対象となる配付先は、沿道25mの土地所有者へは郵送、建物があるところはポスティングを考えています。このアンケートには、手引（案）を同封したいと考えています。本日、ご意見をいただければと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議題（2）、「国道254号バイパス沿道の土地利用についてのアンケート」についての説明は、以上となります。

○事務局・百瀬まちづくり推進課区画整理係長

引き続き事務局のまちづくり推進課の百瀬でございます。補足説明をさせていただきます。

前回の委員会で出た意見で具体的なところはあるのかというふうなお話をいただきましたけれども、先ほどは都市計画マスタープランの流れに沿ってというふうにご回答させていただいていたところなんですけれども、こちらアンケートにつきましては、前回

の委員会です、各委員さんから具体的な要求要望といいますが、こういった考えがあるんじゃないかというふうなご意見いただいたので、具体的に指摘いただいたご意見を修正したり見直したということがございます。

多くはですね、アンケートの一番最初、属性に関するような内容。前回お示した原案ではですね、我々としてはこの沿道の人に配付したアンケートを回答してもらうということで把握してたので、特に考えてはなかったんですけども、沿道といっても広いよねというところで、後で分析できるように、多少なりとも属性を入れた方がいいんじゃないかというふうなご意見があるので入れてございます。

あとですね、いきなり回答するといってもなかなか難しいというお話で、現在の内間木地区におかれている課題ですとか、254バイパスが開通することによる影響ですとか、内間木地区をどのように考えているのか、こういった前提条件といいますが、周りの環境状況ですね、こちらを理解した上で回答する方の考えをまとめていただいて書いた方がいいんじゃないかというご意見をいただきましたので、A4で1枚のですね、裏面に文字ばかりになってしまって恐縮なんですけれども、まとめさせていただいた。これにつきましては前回いただいたご意見を反映して修正、見直した内容というふうになっております。

以上でございます。

○久保田委員長

はい、ありがとうございました。

このアンケート、いつ頃実施される予定ですか。今日皆様からいただいたご意見を反映するタイミングはありますか。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

本日のこの会議を経まして、アンケートを実施できる状態、修正したアンケートを来年度実施したいと思っております。アンケートの結果につきましては、委員の皆様にご共有させていただく場を設けさせていただきたいと思っております。アンケートの内容によっては案を修正しなければならない部分も生じると思っておりますので、そうした場合は案も修正したものを、次回の会議でアンケートの結果とともにまた委員の皆様にお示しする機会を来年度設けたいと思っております。以上です。

○久保田委員長

はい、ありがとうございました。ということで、お気づきの点があればおっしゃっていただければ修正できるということで。ではただいまの説明につきましてご質問、ご意見

がございましたらお願いします。

○町田副委員長

町田です。ご説明ありがとうございました。事前に説明していただいた254バイパス沿道の土地利用についてのアンケートですが、8年3月実施ということでいただいておりますけれども、13ページ、14ページにわたって前回のアンケートが出てくるじゃないですか、令和8年度最終成果の土地利用(案)の中のイメージっていうのは、市内全域のアンケートがこうなっていて、今回沿道にお住いの方を対象にしたアンケートはこうなりましたということで、二つのアンケートが明確に併記されて情報提供されるということでいいですか。

○事務局・百瀬まちづくり推進課区画整理係長

事務局の百瀬でございます。

ただいまいただいたご質問のお答えなんですけれども、基本的には今ご覧いただいている13ページ14ページのところが、令和4年11月頃に行ったアンケートとなっております。基本的には、設問としてはこれとほぼ同じようなことを伺っております。無作為抽出の3,000人だとかこういうふうな意見だったけど、同じ質問を地権者にしたらどうなのかっていうのを比較するという意味で質問として同じになっておりますので、加えるとしたらこの表の横に無作為抽出3,000人ではこういう形だったけど、その横に地権者だったらどうだろうというのを入れ込めればいいなと思ってるんですが、ちょっと枠とかスペースの関係でちょっとそこまで具体的にどうしようまではイメージをまだ持ってないんですけども、比較できる感じで書きたいなっていう気持ちはあるということでご理解いただければと思います。以上です。

○町田副委員長

分かりました。やはり沿道の方々のご意向ってすごく大事だと思うので、際立った、具体的なお意見っていうのが得られると、どういう地域を目指すべきとか地区計画でどういった条件を付けるべきかといったことに繋がると思うので、今回のアンケートも成果の付け足しではなくてきちんと最終案に載せてほしいというのがあります。

あともう一つですが、前回3,000人で有効な回答数が886でしたけど、今回のアンケートは、先ほど言った25メートルの範囲の方々、あるいは建物を所有されている方々っていうのは全体でどれぐらいの数になるのでしょうか。

○事務局・百瀬まちづくり推進課区画整理係長

事務局の百瀬でございます。

今、地権者の方と、あと土地を借りて営業している方と、両方に配付したいなど考えているところなんですけれども、借りて営業してる方ってのはまだちょっと拾い切れておりませんので、地権者だけっていうようなお答えになってしまうんですけれども、今のところ117人になるかなと思うことで見込んでございます。以上です。

○町田副委員長

ありがとうございます。できるだけ多くの回答が得られるといいなと思います。よろしくをお願いします。

○久保田委員長

はい、ありがとうございます。

せっかくのアンケートですから、やはりこの(案)に載せる方向でよろしくをお願いします。ほかにいかがでしょうか。

大貫委員どうぞ。

○大貫委員

すみません、今の質問に関連したお話なんですけど、アンケートが今回実施するもの、それと本編に載ってるまちづくりサロンやその他意見として出てきたもの、15ページとかの情報と今までの現状を踏まえて、これ以降のページの方向性が見直される可能性があるという理解でよろしいんですか。方向性という記載が。

○久保田委員長

はい、事務局いかがですか。どうぞ。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

はい。今回お示した方向性としての目標①から④、市街化調整区域で地区計画を行った場合、沿道の利活用という視点で見た、今まで整備した中ではこの四つで目標を立てております。今回は、現在進めている都市計画マスタープランの内間木地域の意見等を踏まえて一部修正をしました。その時の取組方針についてはこのままいくという判断ですが、今後行うアンケートで土地に接している方の意見によっては、目標の中身が、先ほど委員長のおっしゃったとおりより細かになるのか、そういった点では変わってくることはあるかと思いますが、大きな方針としては、いただいた意見を見てもいいと分からないのですが、現時点ではこのままいきたいと考えております。

○久保田委員長

ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。アンケートの細かいところでも結構ですけれども。

すごい細かいところなんですけれども、アンケートのQ2、このABCDEはやめたほうが良いと思います。上のABCDEは地図のABCDEでしょ、Q2のABCDEは違いますよね、すごく紛らわしいので1234にしていればと思います。

こういったレベルでも結構ですので、お気付きの点言っていただければと思います。

須永委員どうぞ。

○須永委員

ありがとうございます、須永です。前回都合でちょっと欠席をさせていただいたので前回終了している議論であったら申し訳ありません、いくつかちょっと思うところがあるので申し上げたいと思います。

今大貫委員がご質問されたところと問題意識としては重なるところですが、まずお伺いしたいのは、アンケートを今回取っていただくということですが、そのアンケートの結果というのがどこに反映されるのかをお伺いしたいと思います。手引で反映するというのは何ってますけれども、手引に加えてどこか今後の検討の中で反映する予定がある、検討の内容なのか計画なのかちょっと分かんないですけど、どの辺りにこれを使っていこうと思ってるのかをまず教えていただけますでしょうか。

○久保田委員長

はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

はい、ご意見ありがとうございます。今回このアンケートを取るに至った趣旨なんです、この254沿道の土地利用というのは、地権者の方々がこの土地利用の（案）を見て自分たちの土地を利活用する場合どのような手法があるのか、という一つの指針となるような手引になっております。そういった手引の作成につきまして、沿道の方々がどのように考えているのか、アンケートの内容見ていただくとですね、今回目標に即した内容について、必要なか必要でないのかとかそういった簡易的な質問になっておりますが、手引の方針が必要ということがかなり多いということであれば、そういったところを地権者の皆様にバックすることです、内間木の土地をお持ちの方々がどのようなことを考えていらっしゃるのか、行政と地権者でどのような話をしていくのか、そういったところに今回のアンケート結果を、実用的な話の中で参考にさせていただければという思いで実施するものでございます。

○久保田委員長

はい、須永委員どうぞ。

○須永委員

はい、ありがとうございます。すごく大事なご回答だったと思います。是非あの計画に入れるだけでなく、この後中身を議論する上でも、皆さんこういうことをお考えですよねっていうのを含んだ形でいろいろお話いただければありがたいかなと思います。

で、アンケートを作るっていうことはやっぱり、こういうことを知りたいという意図があってアンケートを作ってると思うんですけども、今の事務局のご想定の中で、例えば手引の中に反映するとしたら、手引のこのページがある中でどの辺りについて住民の意見をお伺いして反映したいっていうふうに思ってるのか、その辺の意図をちょっと確認させていただけますか。

○久保田委員長

はい、お願いします。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

住民の方々が、内間木地域という市街化調整区域で今まで土地利用ができなかった中で、手引を見た時にですね、こういう可能性があるんだというものを見つつですね、例えば24ページの目標①「地域防災力の向上」に対応する留意事項の中で、こういうことを気を付けた地区計画を立てていけば、その地区計画に即したものであればできる可能性があるという話し合いの中で、じゃあ私たちは自分の土地についてはこういうことをやりたい、防災についてはこういうことをやりたいんだと、そういうご意見が整理できればこの留意事項の中に入れ込んだりですね、あとは地区計画のイメージ図、具体的な内容、案なんですけれども話し合いの内容の中に入れ込みたいというところを今想定しております。

先ほどお話ししたようにですね、目標自体が変わる、そういう意見が出れば反映されるとは思いますが、基本的には中身についてより細かな、より実態に合った内容を反映していければと考えております。

○須永委員

はい。ありがとうございます。特に手引でいうと24ページのところが具体例として挙げられるということなんですけれども、今回のアンケートで対応してるのがこの辺りだとQ6とかですかね。ここの聞き方で事務局の方でご回答になったような、例えば留意事項にプラスにしていくとかっていう対応が取れるような聞き方になってるのかどうかは少し気になるところです。ですので、具体的に何か直してくださいって話で全然ないんですけども、アンケート実施してその結果を使っていく上ではここのとこ

ろにこういうふうに反映しようっていう材料が集められるような形になってるかどうか、やりたいことが表現できているアンケート項目になっているのかというのは事務局の方で見ていただけるといいかなというふうに思います。これ多分全体そうだと思うので、事務局さんがほしいデータを取れる設問になっているのかどうかっていうのは確認いただければと思います。以上です。

○久保田委員長

ありがとうございます。それで大丈夫でしょうか。お願いします。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

ありがとうございます。貴重なご意見です。それぞれの方がそれぞれの質問に対して答えていただいて最後に自由記入欄があるんですが、私どもが今想定しているのがその項目についてほかにどんな意見があるのかということも踏まえまして、例えば各問のそれぞれに自由記入欄のようなものを設けていけたらというふうに考えております。

○久保田委員長

よろしくお願いします。そのほかございますか。

松村委員どうぞ。

○松村委員

松村です。三つあります。

一つ目は、アンケートの案そのものについては今須永先生からご指摘ありましたが、そういったことも含めてご検討いただければ。実は先生のご意見を聞くまでは僕はこれでいいかなと思ったんだけど、確かにご指摘のとおりなんで、そうかなっていうのを思いました。

二つ目は、副委員長の言うとおりの、せっかく取るんだから、この成果をきちんと土地利用の案に付け足すということではなくて、スペースも考慮した上で、事務的に可能な範囲でできるだけ豊かな内容で反映していただくといいかと。

三つ目は、すみません、ちょっと都市マスの議論なのか、ちょっと自分の都合でよくフォローできてないので、これは質問ですけども、よく分かんなくなっちゃったのが、ちょっと議題が戻って恐縮ですが、この土地利用について（案）っていうのは、行政向けの文書なのか、そうじゃなくて、住民の方向けの文書なのか。もっと大げさな言い方をすると、前回聞いたんですけども土地利用について（案）という文書の位置付けがまたよく分からなくなって。

見ると、上位計画との位置付けってのが書いてあって、補足文書が書いてあって、その

後資料かなんか書いてあって、そうかと。補足的な文書だとして、なんでかっていうと、アンケートっていろいろ聞きますよね、で、これに書きますよね。で、出来上がったこの（案）が取れた文書がね、市役所とか、行政がこれから、254バイパスってこれ県がやる事業ですよね。で、都市マスは市が作って、だから254バイパスへの注文とかね、都市マスを具体化するとき市役所がここに置いておかなきゃいけない文書っていうことで位置付けられているのか、あるいはそうじゃなくて、貶める意味ではなくて、何かこう、住民の方がね、理解する時にああこうなんだって。参照文書っていうの。なんかよく分からなくなっちゃって。だから要するにここに書いた文書が行政向けの文書なのか。要するに行政が実施するに当たって依拠すべき文書っていう、まあ都市計画を考えて何らかのこう位置付けがある文書なのか、住民の方向けに作った文書ってことなのか。悪いってことじゃなくて、僕がちょっと分かんなくなっちゃったんで、長くなりました、ごめんなさい。

○久保田委員長

ご質問ですので、お答えをお願いします。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

松村委員のご質問ですが、私どもがこれを作るに至った視点といいますか、最初から住民さん向けにこの手引を基本は作っております。住民の方にこの手引を見ていただいて、先ほども説明したように、私たちの土地、こういうことができるのかなっていうきっかけになればということで現在この手引を作成しているところです。

ただしですね、市の行政も自分たちの行政が作り上げている今の計画に基づいていますよという発信をしつつですね、皆さんがこの手引をきっかけにまちづくりを考えていただく。で、ご相談に来たときに行政もこの手引を見ながら皆さんと話をしていく、キャッチボールの最初のきっかけとなると思っております。

○久保田委員長

よろしいでしょうか。

○松村委員

ありがとうございます。土地利用について（案）っていうやつですか、これを今度手引って言っているの。これまで議論が重ねられているので。それで今の回答で良いですが、仮にそうだとするとね、端的に言えばこれは行政側が何か指示するときの文章ではなくて、市民の方が理解する文書だっていうわけでしょ。違います。ていうふうに言ったんですよ。そうすると、結論的にはこだわらないと思う。都市計画法上ね、計画からこうい

っぱい諸計画があって、その中での位置付けっていうので、すごく小役人的なことをしますが、それを補完する文書っていうのが、僕個人的にはどうかなっていう感じ。だって補完してないでしょ。だって補完する権限がないんだもん、市民の方は。

だから仮にね、市民の方の意見も聞きながら、行政の文書として作ってるんですけど、いう誤解とかあるのかと思って、実は聞いたんですよ。それであれば補完するような何か、位置付けよく分かんないけど、これが要らないって言ってるんじゃないんですよ、住民の方が本来は自分たちが作ればいい文書を、市役所が代わってある意味注文したみたいですよ。市に対する。僕はこういうことを考えてるからこうやってほしいよっていうのであれば分かるんですが、手引書がどういう位置付けになるのかよく分からない。すみません感想だけで全く反対しませんので、その辺は整理してお進めいただければということであります。

○久保田委員長

ありがとうございます。私の理解だと、先ほどの土地利用についての21ページ、22ページ辺りが多分今のご指摘に該当する箇所だと思うのですが、この委員会が1回お休みする前の委員会のときに、都市計画法のどういう手法があり得るかという議論をして、その結論としてこの21ページにありますけども。いずれにしろ地区計画が必要だろうという結論になり、22ページから地区計画についてこんなことが考えられるんじゃないかということが書いてあると。

地区計画というのはご存じのように、基本的には地元の方が率先して案を作っていたいて、市がそれを認めるという手続になるので、地元の方が発案していただきたいということで、この21ページからの、こういう例がありますよということで作っていたいていうことで理解していますけれども、それでよろしいですか。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

委員長ありがとうございます。私の説明が至らなかったこと申し訳ございません。委員長のおっしゃるとおりでございます。

○久保田委員長

ありがとうございます。ということでよろしいでしょうかね。そのほかどうでしょう。

大貫委員どうぞ。

○大貫委員

すみません1個目は記載の内容で、ちょっとこれ間違いなのかどうかちょっと確認し

たいんですが、ページ14から18参照と書いてるのは、この案とされてるブルーの表紙の14から18ではなくて、17から20ということなんでしょかっていう、ちょっと最初聞いてよく分からなかったのでもちよつと確認をしたいというのが一つ。

それとあと、今案とされてるものが最終的に手引として制定されるということになると思いますが、ちよつとそうなったときにそれで終わってしまうと、ただ単にタスクを達成した、仕事を終わりました、できましたで終わってしまうので、そこに付加価値を付けるとしたらやっぱりそこを進めていく、市と、もし開発したいという住民の方がいらっしゃるんであれば、一緒になって進めていくということが必要なんですが、このアンケートを見ると、何かアンケートだけ取って終わりっていう、ちよつと私は地権者からという立場としたら思うかなと思うので、是非ともこの一番後ろのところに例えばこの実際に地区計画を利用して何かやると言っても、行政の手続とかが多分1人の地権者で大きな土地を持って、そこだけでできるようなことはないんで、いろいろほかの住民の方とか地権者の方と一緒にやっていくっていうことについては課題がいっぱいあって、何かこれはできるんだけどどうやったらいいんだらうなっていうところで止まってしまう可能性があるんで、例えば地権者に対する勉強会とか説明会みたいなのを希望するみたいなのもちよつと要望を聞く欄みたいなのがあった方がいいのかなと思います。はい。以上です。

○久保田委員長

ありがとうございます。二ついただきました。いかがですか。

○事務局・福崎まちづくり推進課区画整理係主任

事務局の福崎です。一つ目の質問にお答えします。アンケート3ページ目のQ6の上部、P14から18を参照してくださいと記載がありますが、こちら誤りで、2ページ追加いたしましたので2ページ分ずれてございます。修正して次回お示しいたします。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

続けて二つ目の質問にお答えいたします。大貫委員のおっしゃったとおり、この(案)を生きたものにするためには継続して地元の皆様にお話をしていくというのはすごい大事なことです。ここ数年、内間木地域の方とは意見交換会等をさせていただいておりますし、そういった機会を使いながらですね、今後も勉強会とか案についての意見交換をする場というのは引き続き設け、この案に載せていければと考えております。

その際に、そういったことに対する意見をいただくために、アンケートに今大貫委員がおっしゃったような今後の場の必要性とかそういったものをアンケート項目に追加さ

せていただければと考えております。

○久保田委員長

大貫委員よろしいですか、ありがとうございます。貴重なご意見いただきましたので、アンケートはその項目を追加するということにしたいと思います。そのほかございますか。

松村委員どうぞ。

○松村委員

改めて今土地利用についてっていうのを読んでいたんですが、こういう理解でいいかっていう質問ですが、「はじめに」っていうのがございますね。「作成の経緯」の「このような背景の中」っていう文章がありますが、2行目かな、「地権者の方や土地の活用を考えている方に向けて土地利用の課題や留意点をまとめた「国道254号バイパス沿道の土地利用について（案）」を作成しました」という。直すと、すごい手引書な感じが僕的にはするんですが、その理解でいいんでしょうか。今のように修正しても、事務局の意図が、直せっていう意味ではなくて、僕が何とか理解しようとするすごい文章になっちゃうんですが、それでいいんでしょうか。作成の過程で、皆さん「手引書」って言うけど、手引書って書いてあるか。僕の見落としかもしれないから。見当たらなかったんですよね。

○久保田委員長

事務局どうぞ。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

今回お配りした「国道254号バイパス沿道の土地利用について（案）」、今1ページのご指摘いただいたところも、そのタイトルをそのまま載せておりますが、先ほどから説明しているのはこれを手引的な扱いで今後使っていきたいというふうに説明しているものの、タイトルが合っていないと感じております。

最終的に（案）を取るときに「手引」というふうに考えていたのですが、今回ここです承いただければ、「土地利用の手引（案）」というふうにタイトルを直していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○松村委員

手引が行政向けの手引か、住んでる方への手引かってことをしつこく言ってるわけ。表紙変えても分かんないから、「作成の経緯」のところで、「地権者の方や土地の利用を考えている方に向けた」と書いていたら、これは役人向けに書いた文章じゃないって分かるで

しょう。だから「向けた〇〇の課題や留意点に関する事項をまとめた」とすればいい。名宛て人が誰かっていうことが分かるようにした方がいいでしょってことで、さっきの2ページ目のところ、ちょっと直すとね、僕的にはすごく安心すると、すみません。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

1ページ目のところは修正させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○久保田委員長

ありがとうございます。ではタイトルを「～についての手引」としていただいて、1ページのところは委員のご指摘のとおり直していただきたいと思います。

大貫委員どうぞ。

○大貫委員

私もこれで最後にします。このブルーの（案）の2ページ目の下のところの「内間木公園拡張整備の検討」というところの表現と、あといろいろな場で公表されてるところの整合性が取れているのかをちょっと確認したいんですが。

まず内間木公園の拡張整備、その公園自体のところは過去にあった検討会で方向性が示されて、こうしようみたいな形で終わってると思うんですね。この沿道整備と合わせて、そこら辺のところは総合的に判断しながら決めていきますよみたいなことだったと思うんですが、「検討を進めています」というのは、ちょっと現在進行形みたいになってるのが、大丈夫なのかなというところをちょっと確認したいです。

○久保田委員長

はい、どうでしょうか。

○事務局・村沢審議監兼部次長兼まちづくり推進課長

254バイパスは県がやっている事業にはなりますが、沿道整備と合わせて総合的に進めますっていう表現が読み取れていない文章なので、修正させていただければと思います。

○大貫委員

ちょっとそれプラスそこら辺の進め方って、私は元々内間木公園の検討委員だったんですけど、今後この沿道の整備とどういうふうに関連して求めていくとか示されることになるんですかね。

○事務局・松下みどり公園課長

今お話のありました内間木公園の拡張整備でございますけれども、今現在令和5年度末で基本構想が完成している状況でございます。今お話があったように254バイパス

の進捗に応じて今後基本計画等の動きがあるんですが、沿道の考え方も載せていきたいなど考えております。

○大貫委員

日程的なところがある程度明らかになった方がいいかなと思いますので、ちょっとそこら辺も含めて、市民の方に示されるといいのかなと思いますので、よろしくお願いします。

○久保田委員長

ご意見ありがとうございました。今の点参考にさせていただいて、これをバージョンアップしていくということでよろしくお願いします。そのほかありますか。

高橋委員。

○高橋委員

すみません。私ちょっと欠席した関係もあったので、分からないことがあるんですけど。JR武蔵野線との交差、バイパスが下を通る計画に変更されたということなんですけど。深いトンネル方式になるのか、それともオープン方式をとるのか、そこら辺をちょっと教えてもらいたいんですけど。

それと、皆さんご存じのとおり内間木地区は低い土地にあり、排水が非常に難しいところであります。下を通った場合どのような排水方式をとるのか、そこら辺をちょっと教えていただきたいと思います。

○久保田委員長

では田中委員からご説明いただきます。

○田中委員

朝霞県土整備事務所の田中です。よろしくお願いします。前回私も欠席してしまい申し訳ありませんでした。武蔵野線のアンダーのところなんですけども、武蔵野線の高架橋って支柱張りの形になっているんですね。支柱張りというのは地下の中をあまり深く掘れないので支柱張りの上が道路になる感じになりますので、そんなに深くはならないです。

あと排水の関係も今設計しているところで、路面に降った雨についてはそこに溜まらないような排水の施設を今計画しているところです。ただ、集中豪雨とかであまりに多い雨が降ったときは一時的に溜まるかもしれないですが、そういうことがないように設計を進めているところです。

○久保田委員長

ありがとうございました。

○大貫委員

今のに関連して、254バイパスは災害とかがあったときに緊急輸送すると思うんですが、雨が降って溜まったから通行止めにしてしまうというのはまずいですよね。意見交換会でも言わせてもらったんですが、その横に歩道ができるはずですよ。歩道は下を掘って低くするというのではないので、そういう場合は歩道側が車両が通れるように構造設計をしていただいて、そのときだけ開放できるっていうことにしないと道路のそもそもの役割を達成できないので、JRさんとの協議が必要だと思いますが、よろしくお願い致します。

○久保田委員長

ご意見ということで、参考にしていただければと思います。ありがとうございました。ほかよろしいでしょうか。では、二つの議題については以上ですが、その他関連のご発言があればいただきますが、よろしいでしょうか。それではアンケートについては一部追加をさせていただくことになりましたので、追加修正をしていただいた後、実施していただいて次回の委員会でご報告いただきます。それからブルーの冊子についても、タイトルその他修正をしていただければと思います。

◎4 閉会

○久保田委員長

では私の進行は以上になりますので、事務局から何かありましたらお願いします。

○事務局・持田まちづくり推進課主幹兼課長補佐

今後の予定について、報告させていただきます。本日委員の皆様からいただいたご意見を踏まえまして、令和8年度にアンケートは実施させていただきたいと考えております。実施に当たりましては、修正した(案)を事前に皆様に共有させていただければと考えてございます。

アンケートを実施した後ですが、アンケートの結果について次回の検討委員会の方でお示ししたいと考えておりますが、詳細な日程等については別途改めてご連絡させていただければと考えております。

手引についてでございますが、アンケートで手引に関する内容についても説明をお伺いしておりますので、アンケートの後ご意見があればその内容を反映させまして、こち

らについても次回の検討委員会の方でお示しし、その際に（案）を取りまして、手引として確定できればというふうに現時点では考えております。以上です。

本日は長時間にわたり様々なご意見をいただきましてありがとうございました。以上を持ちまして、令和7年度第2回朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会を閉会します。

ありがとうございました。